

## 「産総研 生命情報科学人材養成コース」最終シンポジウム

平成13年から5カ年計画で実施してきた「産総研 生命情報科学人材養成コース」も最終年度を迎えました。9/22に開催された今年のシンポジウムは、これまでの歩みを振り返るとともに、今後のバイオインフォマティクス人材養成のあるべき姿について考察する機会となりました。企業や大学で活躍する被養成者の現在の様子が報告された他、九州大学教授 藤 博幸先生による招待講演、人材養成に造詣の深い先生方によるパネルディスカッション等が行われました。

### 被養成者 活躍状況報告 CBRC

- 熊谷 俊高 (株式会社ファームラボ 代表取締役社長)  
「麹菌ゲノム解析からゲノム科学応用ベンチャーへ」
- 加藤 毅 (東京大学大学院 新領域創成科学研究科 助手)  
「異分野の壁を壊した人材養成コース」
- 森 芳和 (株式会社ツムラ 研究開発本部 主事)  
広川 貴次 (CBRC 分子設計チーム長)  
「創薬研究におけるバイオインフォマティクス技術の活用を目的とした実践的・応用的教育」
- 清水 佳奈 (早稲田大学 理工学術院 助手)  
「多くのチャンスを提供してくれた人材養成コース」



左から熊谷氏、加藤氏、広川チーム長、清水氏



左から招待講演 藤教授、会場、ポスターセッションの様子

### パネル ディスカ ッション

#### 「バイオインフォマティクス人材養成の あるべき姿とは？」

##### 【パネラー】

- 浅井 潔 (東京大学 教授、CBRC)
  - 江口 至洋 (JSBi 会長、三井情報開発 (株))
  - 藤 博幸 (九州大学 教授)
  - 馬見塚 拓 (京都大学 教授)
  - 美宅 成樹 (名古屋大学 教授)
- 【司会】
- 五條堀 孝 (国立遺伝学研究所 教授、BIRC)
  - 秋山 泰 (CBRC)



## CBRC主催のシンポジウムのご案内

10/27  
(木)

### CBRC2005

(CBRC Annual Meeting)

13:00  
~18:00

CBRCの8チームから各チーム長がそれぞれ最新の研究成果と研究テーマについて講演します。ポスターセッションも開催。(使用言語：英語、参加無料)

10/28  
(金)

### ISCBB2005

(International Symposium  
on Computational Biology & Bioinformatics)

10:30  
~18:00

アジアの4カ国の研究機関が集い、コンピューショナルバイオロジー、バイオインフォマティクス研究の注目トピックについて発表します。ポスターセッションも開催。(使用言語：英語、参加無料)

主催：Computational Biology Research Center (CBRC), AIST (日本)  
共催：Center for Computational Biology and Bioinformatics (CCBB), KISTI (韓国)  
Bioinformatics Institute (BII), A\*Star (シンガポール)  
Institute of Genomics and Integrative Biology (IGIB), CSIR (インド)

両シンポジウムとも、産総研 臨海副都心センター別館 11階にて開催されます。皆様ご多忙中とは存じますが、この機会に是非足をお運びくださいませ。【詳細・参加登録】<http://www.cbrc.jp/symposium/2005/>

## バイोजアパン2005

BioJapan 2005  
World Business Forum

9/7~9、『バイोजアパン2005』がパシフィコ横浜にて開催されました。CBRCは、昨年同様 産総研ブースにて出展し、最近の成果から CellMontage：高速類似細胞検索システムと、タンパク質立体構造情報に基づく創薬支援システムを取り上げ、パネル展示、解説いたしました。また、9/8の産総研セミナーでは、秋山センター長が「ゲノム情報からのタンパク質立体構造予測と相互作用予測」と題した講演を行いました。その他にも、フォーカス21プロジェクト(細胞情報チーム/

大規模計算チームが従事)の成果がNEDOブースで発表され、従来の約5%の試料で約20倍速くプロテオーム解析ができる装置の開発(高橋ら)に注目が集まりました。

